



よ ば てんびょう 四つ葉点描

きょういくもくひょう 教育目標 「美しく生きる」



四日市市立中部中学校

令和7年6月3日

第4号

ちゅうぶちゅうがっこう あら とくしよく
中部中学校の新たな特色

プレゼン力を磨く



おお ぎょうじ し ぜんきょうしつ しよくばたいけんがくしゅう しゅうがくりょうこう お がくねん じゅうじつ かつどう
大きな行事である自然教室、職場体験学習、修学旅行が終わりました。どの学年とも充実した活動
ができたようでうれしくおもっています。じゅんび だんかい じかん て ま と はな ひら
た様子。素晴らしい！！

がつ は、これらをまとめ、はつびょう とりくみ はじ りよく みが つき
6月は、これらをまとめ、発表する取組が始まります。『プレゼン力』を磨く月がやってきました。

なぜ、『プレゼン力』なのか？

中部中学校が力を入れて取り組む『プレゼン力』。これは、行
事のまとめや生徒会活動等を、スライドを使って大勢の前で発表す
る力だけではありません。ちゅうぶちゅう かんが
中部中が考える『プレゼン力』とは、「体
験・学習したことを基にして、自分の思いや考えを、自信をもって
ねつ こ つた
熱を込めて伝える力」のことをいいます。単にプレゼンテーション・ス
キルを身に付けることを目指すものではありません。「他人に対して自分の考えを伝える場面は、すべてがプレ
ゼンの場面である」として、にちじよう じゅうちゅう ぶ かつ やす さくぶん かえ ぶんしよう
日常のすべての場面・・・授業中、部活中、休み時間、作文やふり返りの文章、
SNSでのやりとり等、あらゆる機会に使えるスキルであると考えています。



「話す力・伝える力を身に付けさせたい！」という思いの根底にあるのは、究極でいえば、「自分に自信
をもって生きる大人になって欲しい」ということであり、その先にあるのは、「『プレゼン力』を使って、世の中
を変えていって欲しい」ということです。個人の自由や個人の幸せに注目が集まる世の中です。だからとい
って、しゃかい あんてい
社会が安定していなければ、ヒトは生きていくのが苦しくなります。ひと ひと
人と人とが暮らしていくには、コミュニ
ケーションが欠かせません。つまり、「伝える力」=『プレゼン力』です。じりつ きょうせい そうはつ
自律・協生・創発するためには、対話
が必要であり、対話のスキルとして、『プレゼン力』を磨こう！と、いうわけです。

希^き薄^{はく}な人間^{にんげん}関係^{かんけい}は、社会^{しゃかい}生活^{せいかつ}を乾^{かわ}いたものにしてしまいます。そんな世の中を変えるためにも、中部中は、『プレゼンカ』を使って、より^よ良い学校、より良い社会をつくっていきたいと思っています。

自然教室を振り返る 5月8日(金)、9日(土)

1年生の自然教室は、あいにくの悪^{あく}天候^{てんこう}の中で行われました。数々のピンチな場面を班で協力して乗り越え、プログラムのすべてを完了^{かんりょう}できました。1年生が目指した「助け合いをしよう」「キャストになり切ろう」は、実行できたのではないのでしょうか。しかし、「切り替えて学ぼう」は、学校に戻ってからの宿題となりました。



目標は、できていないからこそ目指すのであり、「切り替え」を目標に選んだ、みなさんの判断は正しかったと思います。みんなの時間と自分の時間を素早く切り替えること。これができるようになれば、1年生は、更に良い集団になれる。何でも言い合える1年生だからこそ、まずは、話が聞ける集団であって欲しい。

2年後の東京駅で、「静かにしなさい！」と言われなくてもいいように、今から身に付けていこう。

修学旅行を振り返る 5月21日(水)～23日(金)



3年生の修学旅行は大成功に終わりました。仲間を気遣い、時間を意識し、マナーを意識し、学校での生活以上に大人の行動ができていました。特に、2日目の東京探究学習では、四日市探求学習の学びを活かし、積極的に質問をしたり、メモをしたり、インタビューをしたり、Change, Challengeする姿をたくさん見ることができました。とても頼もしかった。

中部中の伝統のひとつに、最上級生としての自覚があります。受け身であったり、指示待ちであったり、他人任せであったりする雰囲気、3年生になるとピタッとなくなり、「自分たちがやらなければ・・・。」という集団に変わります。今年の3年生も、何かやってくれそうです。そんな期待を感じさせる修学旅行でした。

熱中症対策 体操服登下校(クール・ピズ)

昨年度の生徒会の提案により、「登下校では、シャツのすそをハーフパンツから出してもよい」とことが決まりました。より良い生活を目指して、先輩が考えた新しいルール＆マナーです。緩くするというのではなく、より良くする。暑いからこそ、思考はクールに。体調管理も自律です。